

新規登録団体の紹介

新たにサポセンに登録された団体を紹介します。

興味のある団体がありましたら、お気軽にサポセンにお問い合わせください。

わんness
～犬と人との共栄～



「一頭でも多くの命を守るために出来ること」
犬も人も共に心身健康に、幸せに支え合っていくことを考えて。HPやインスタグラム→wan1nessでの情報発信や、迷子ペットの搜索ポスター制作のお手伝い等々行います！



団体HPはこちら

中津北寿会
～教育と教養の場づくり～



上熊坂地区の老人会です。会員の親睦を目的として、いきいきできる場づくりを目指しています。今日行く(教育)と今日用(教養)を合言葉に楽しんでいます。
(上記写真は、初夏の東京巡りの様子)



団体HPはこちら

箕輪高嶺会
～福祉の向上・生活をより楽しいものに～



高峰地区に箕輪区があります。
高い峰、高嶺(たかね)を名称にいたした箕輪高嶺会(みのわこうれいかい)は老人会です。
(上記写真は、スカットボールを行う様子)



団体HPはこちら

愛川町食生活改善推進団体味彩会
～地域社会の健康づくり～



明るく、楽しく、笑顔をもっとに地域における食生活改善運動の推進と食に関する知識及び研鑽に努め、地域社会の健康づくりに役立つ活動をしています。
(上記写真は、健康フェスタあいかわでの活動の様子)



団体HPはこちら

《あいかわ町民活動サポートセンター》

〒243-0392 愛川町角田251番地1
(役場裏の分館＝文化会館との間)

TEL : 046-205-1323

FAX : 046-205-1324

Eメール : ai-saposen@bz01.plala.or.jp

サポセンHP



【開所時間】 9:30から17:00まで
ただし、木曜(祝日を除く)は19:00まで

【休所日】 毎週水曜、年末年始、施設点検日
(水曜日以外の祝日は開所)

【利用予約】 打ち合わせや機器を利用するときは、事前に電話予約をして下さい。
掲示物等を見るだけの来所でも歓迎です！

さぽせんあいかわ



【発行】あいかわ町民活動サポートセンター(年2回)

第38回愛川町ふるさとまつりにて「サポセンコーナー」開催します！

今年も様々な分野のサポセン登録団体が参加します！
また、庁舎分館のサポートセンターは、休憩所として開放いたします。
どなたも気軽にご来場ください！



令和6年10月20日(日)

10時から

屋外テントで開催！

休憩所となるサポートセンターには、
スタッフがおりますので、室内をご案内いたします。
たくさんの方のご来場お待ちしております！



令和6年度あいかわ町民活動応援事業の審査部会を開催！

「あいかわ町民活動応援事業」とは・・・

町民皆さんが自主的・自立的に行う、公共の利益に寄与する活動の活性化を図り、協働によるまちづくりを進めるため、皆さんが企画・立案し、実施する事業に対して、町が資金的なバックアップを行う制度です。

本年度は、応募があった2団体に対して、書類審査と令和6年6月19日（水）に公開で個別ヒアリングが行なわれ、あいかわ町民活動応援事業の補助事業が決定しました！



個別ヒアリングの様子

令和6年度 応募事業の概要

団体名	愛川町小中学校草刈り隊 (令和2年7月設立)	はねやすみ(不登校・ひきこもり親の会) (令和5年6月設立)
事業名	町内小中学校の環境整備事業 (継続2年目)	不登校・ひきこもり親の会による ピアカウンセリング(新規)
事業期間	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日
主な事業内容	「オール愛川。町の子ども達の笑顔のためにできること」をテーマに、子ども達の安全・安心を図るために、各小中学校敷地内の環境整備(草刈りなど)に努めること。刈払機の講習会を開催する。	学校に行きづらい子どもをもち、悩みを抱えている保護者を対象にピアカウンセリングを行い、親の孤立を防ぐこと。交流の機会を設けて、情報交換や必要な情報を届ける活動を行う。
審査結果	採用	採用

愛川町小中学校草刈り隊へ

審査部会委員の声(一部抜粋)

はねやすみへ
(不登校・ひきこもり親の会)



・今までPTAなどで行ってきた草刈りなどを有志で組織化して行う有益な事業である。
・児童・生徒数の減少に伴い、この事業の必要性が高まっている。

・不登校・ひきこもりの数は増加しており、有益な事業である。
・当事者を中心に不登校・ひきこもりの子どもとその親の社会的孤立を防ぐ会の活動に感銘を受けた。



令和7年度実施分の提案型協働事業の審査部会は、令和6年11月中に行われる予定となっています。

※日程等の詳細については、町ホームページをご覧ください。(会議日程が決まり次第更新)

http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/soshiki/soumu1/juminkyoudo/kyoudosuisin/info_1/singikai/ichiran/15449.html



提案型協働事業で活動しているサポセン登録団体インタビュー！

令和6年度 提案型協働事業(住民提案型)で、活動中の非営利組織「寺子屋くすくすの木」代表 野田由栄子さんに、活動に対する思いや内容等をうかがってきました。

活動のきっかけを教えてください！

平成25年から中津公民館で実施の「土曜寺子屋」事業(小さな森の学校(サポセン登録団体)主催)を進める中で、外国籍の生徒へより手厚いサポートと不登校の子どもたちへの学習保証の場の必要性を感じ始めていました。

そのことから、町内の不登校児童生徒、外国にルーツを持つ未就学児、低学年児童、来日間もない児童生徒を対象に、支援事業を立ち上げました。

最近はママ同士での口コミからも、私たちの活動が広がっています。



春日台センターセンター「寺子屋」

どのような事業をしていますか？

インタビューの様子

外国にルーツを持つ町内の小学1・2年生に、読み・書き・そろばん・基礎的学習支援を、不登校児童生徒に、学習支援やコミュニケーションワークなどを行っています。昨年度からは、「プレクラス」「プレスクール」事業を、2拠点で実施し、サバイバル日本語指導や、基礎的な日本語・学校のルールなどを教えています。

また、保護者に対しての支援や相談活動にも力を入れています。

活動場所は、春日台センターセンター2階寺子屋と、中津小学校2階「プレクラスくすのき」で、水曜日に開催しています。

町との協働により、対象児童生徒の情報共有等が進めやすくなり、また町の担当者が随時、事業のフォローをしてくれているので、有意義に進められています。

「質の高い教育をみんなに」を目標に、町と地域の活動団体がタッグを組んで課題解決を図る協働事業には大変感謝をしています。

活躍するスタッフの皆さんは？

スタッフとしての登録は20名ほど。

年代は様々で、美術教諭だった野田代表の教え子の方も少なくないとのこと。

卒業してもつながりを持ち、活動に共感し、送迎やInstagramの配信、チラシのデザインなど、団体を支える力となってきています。

「自分の得意分野を生かせること」
「違う視点を持った仲間がいること」は団体にとって、とてもいいこと。「みんなキラキラしてるでしょ？」とニコリ。

事業の様子



今後の活動についてや、伝えたいことは？

大人も子どもも居場所が必要です。自分を出せる場所。

自分を好きになる。自分を好きになれないと、人も好きにならない。好きになると素敵な仲間がたくさんいること、素敵な子供がたくさんいることに気づきます。

お互いに助け合える、そういう団体になりたい。

得意分野を活かしながら、互いに感謝する気持ちが自然に芽生えてくると、人はとても心優しくなります。

難しいことではありますが、こういう場が増えていくといいなと思います。



団体名の由来でもあるセンターセンターのくすの木



「寺子屋くすくすの木」令和6年3月卒業記念写真

寺子屋くすくすの木をもっと知りたい方へ！



Instagram
団体アカウント



サポセン
団体ページ

提案型協働事業(住民提案型)とは？

住民活動団体からの提案に基づき、団体と町(担当課)がそれぞれの特性を生かすことで、地域の公共的な課題をより効果的に解決し、より良い公共サービスの提供などを目指す取り組みです。